

平成 20 年 3 月 19 日

新 宿 区 長

法 人 名 森とでんえん倶楽部
所 在 地 新宿区高田馬場 4 - 18 - 15 - 102
(フリガナ)
代表者氏名 角 保 恵 喜

事 業 実 績 報 告 書

新宿区協働推進基金条例施行規則第 19 条の規定により、下記のとおり報告します。

記

1 助成対象事業

事業名	心身はつらつ、新宿・親と子の協働カレッジ 日本伝統文化体験と稲づくり・食文化体験教室 区立早稲田小学校を中心にして
実施日時又は期間	日本伝統文化体験：9/29・30 お茶点前、琴・鼓・尺八 11/24・25 植物画、古武道、鼓、尺八 稲づくり：4月～2月まで 平成 20 年 1/19 カブトムシ教室
対象者の範囲及び人数	日本伝統文化体験：66 人（子ども 44 人、保護者 22 人） 稲づくり・食文化：区立早稲田小学校 5 年生 76 人、先生 5 人、保護者 50 人
事業内容	日本伝統文化体験：茶道の基本動作、古典音読、伝統楽器の音だし体験、年賀状づくり、カブトムシ飼育学習。 稲づくり・食文化体験： 圃場作りと環境整備 稲づくりの管理と観察 デンブ形成・幼穂形成・環境温度・二酸化炭素吸収事件 生活文化体験（かかし祭りなど）
具体的な活動状況	日本伝統文化体験：和室の立ち居振る舞いの基本に父子が挑戦。（思いやりの心を知る） 伝統楽器を知り、音出しに挑戦（伝統の音色に気づく）音読の音を楽しむ。 年賀状の伝統に気づく。（色付けを工夫）古武道で護身の心を知る。カブトムシ教室で命のリレーを知る。 稲づくり・食文化：5 年生は自分たちの力を結集して圃場をつくった。田植、水遣り、風害・鳥害、病害に対応した。イネ刈り・脱穀・モミすりを体験した。デンブ試験・二酸化炭素吸収を学んだ。案山子祭りで、日本人の心の故郷を訪ねた。
事業の成果	日本伝統文化体験：日本の風土が育てた伝統の心を各種の表現様式の体験を通して確認した。子どもたちは小さな心の中に、拠ってきている自分を見つけた。同伴の保護者も新しい思いで、拠ってきた自分に気づいたと思いたい。命を生み育てるカブトムシ飼育体験で、命のリレーの重みに気づいた。 稲づくり・食文化：力を合わせる協働の心を学んだ。人は植物から離れてくれない、植物も人の助けを求めていることを知った。環境の保全には各自が自分の足元から取り組む必要に気づいた。食べ物は生活圏から採ることの大切さに気づいた。

2 助成対象事業費内訳（実績）

収入	経費	積算根拠（内訳）		金額
	団体負担金	支出明細の通り		453648 円
	参加費・資料代等	有料子ども@¥400×22人同保護者@¥700×13人=17900(35人) (総参加者数は子ども44人、保護者22人、計66人)		17900 円
	その他の収入			0 円
	協働推進基金助成金	助成金申請額		410000 円
	計			881548 円
支出（助成の対象になる事業費の内訳）	費目	決算額	内訳	
	会議費	4200 円	4200 円若松地域センター（2件）	
	宣伝費	121389 円	27954 円（16件）印刷・コピー費、2710 円（3件）写真現像費、67725 円（1件）チラシ印刷費 23000 円（2件）テキスト・記録CD制作費	
	リース費	20327 円	9000 円（1件）琴3面借用費、11327 円（1件）カブトムシ保育器借料	
	消耗品費	29852 円	4372 円（8件）用紙費、3286 円（3件）ダブルクリップほか、18220 円（5件）インク・トナー、1244 円（4件）セロテープ・画紙・集計用紙、2730 円（2件）DVD	
	謝礼	520000 円	日本伝統文化体験：260000 円 25 件 稲づくり・食文化：260000 円 29 件 別途4ページ空欄に明細記載	
	人件費	4000 円	4000 円（1）標本展示説明	
	材料費	100840 円	73839 円：22 件（シート、木材、苗、足洗いプール、作業台、網など） 27001 円：12 件（抹茶、製本テープ、画材・生花、蜜、カブト資料など）	
	交通費	8360 円	指導員：2 千円（2 件立川） 4 千円（2 件早稲田小・奥多摩） 1 千円（1 件早稲田小）講師車代：1360 円（1 件早稲田小）	
	その他諸経費	55055 円	郵送費 14930 円、資材輸送車代 18600 円（11 件） 同運輸業者 18065 円（7 件）保険 1990 円（59p@¥30+220） 参考文献 1470 円（1 冊）	
助成対象事業費（小計）		864023 円		
余 剰 金		0 円		
助成対象外事業費		17525 円	6825 円（菓子箱2件講師対策）2600 円（1 件講師昼食代）2000 円（人件費対象を越える額）6100 円（2 件ルノアール 4500 円 1 件珈琲館 1600 円）	
事業総額		881548 円		

3 助成事業の成果と課題

評価のポイント	自己評価
事業を計画した当初に決めた課題について、どこまで達成できたか。	日本伝統文化体験：心の豊かさを育てる 70点 遊びの喜びを知る 70点 日本の伝統の自覚 70点。 稲づくり・食文化体験：協働の心を学ぶ 90点 植物の整理を学ぶ 80点 暮らしの文化を学ぶ 80点 二酸化炭素吸収を学ぶ 50点
地域にどのような効果があったか、又は今後見込まれる効果は何か。	日本伝統文化体験：カブトムシ教室は昨年度参加者が2家族出席、体験発表した。虫を通して命を生み育てる体験は出席者を感動させた。これを基礎にグループ育成ができればうれしい。 稲づくり・食生活：保護者の関心が植物を育てることに向いてきている。保護者との連携が深まれば、運動が面になる。
新たに気づいた課題は何か。	日本伝統文化体験：各メニューの充実 稲づくり・食文化：学校のニーズを的確に把握し、支援の中身を充実させる。
理解者や支援者が広がったか。	参加者のリピーターや支援してくれるボランティアが増えてきた。参加者やボランティアが増えれば、要望も異論も増える。ニーズを吸収して良いものにする、入れ物作りも必要になる。
事務局の執行体制は十分だったか。	理事者を中心にボランティアを巻き込み事務局体制の充実が図られつつある。
今回の事業を発展させた新たな事業としてどのような事業が考えられるか。	豊かな心を育てる社会づくりをテーマに進める本倶楽部は野外活動、環境活動、文化啓発活動に取り組んでいるが、とりわけ、伝統文化の一般化が大切と考える。専門的、閉鎖的、徒弟的金儲け体質を破り、入口だけでも幅広い市民が共有する姿を求めたい。事業機会を広げたい。
その他	

4 活動の成果

* 事業の成果物(冊子など)又は、事業の開催時の写真など提出できるものがある場合は添付してください。
* 参加者の意見なども報告してください。

日本伝統文化体験：別途記録写真を提出します。

稲づくり・食文化体験：記録CDと記録写真を別途提出します。

補足メモ

記事欄の都合で謝金の部門別明細を下記に整理します。

日本伝統文化体験：23000円1件、15000円5件、12000円4件、11000円1件
10000円5件、7000円2件、6000円6件、3000円1件
計 260000円 25件

稲づくり・食文化：25000円1件、20000円1件、15000円1件、12000円1件
10000円12件、8000円2件、6000円7件、5000円1件、
2000円2件、1000円1件
計 260000円 29件

文化体験・稲づくり両部門合わせて合計 520000円